青い森のサイバーセキュリティ

令和5年6月 青森県警察本部 サイバー犯罪対策課

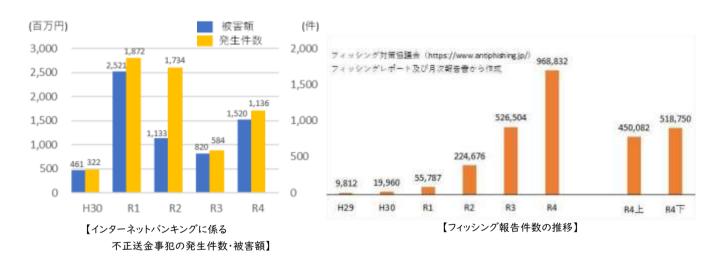
令和4年中のサイバー犯罪情勢②

◎インターネットバンキング不正送金が再び増加

令和4年中に警察庁に報告されたインターネットバンキングに係る不正送金被害件数は1,136件、被害総額約15億1,950円で、再び増加に転じています。

特に8月下旬から9月にかけて急増しましたが、この被害の多くはフィッシングによるものとみられ、金融機関を装ったフィッシングサイト(偽のログインサイト)へ誘導するメールが多数確認されています。

フィッシングで騙られた企業は銀行のほか、クレジットカード事業者、EC (Eコマース~電子商取引)事業者が多くを占めました。



◎フィッシングへの対策

フィッシングはEメールのほか、SMS(ショートメッセージサービス)でも 多数送信されています。

フィッシングへの対応は

- ・ メールやSMSで受信したURLの接続先がログイン認証の画面だった場合には、一旦画面を閉じ、改めて公式サイトに接続し直して内容を確認するよう指導する(従業員教育)。
- ・ ウイルス対策ソフト等のフィッシング対策機能を使用する。
- ・ メールサーバーに送信ドメイン認証(DMARC等)を導入する。

など、複合的に対策を行う必要がありますので、計画的に業務運用に取り入れましょう。